

診療課上級試験範囲一覧

第1分野	コスト意識
第2分野	カンファレンス
第3分野	人材育成
第4分野	チーム医療
第5分野	リーダーシップ論
第6分野	面接技法
第7分野	リスクマネジメント
第8分野	運営方法
第9分野	人権擁護
第10分野	精神保健福祉の動向

第1分野 コスト意識		
1	解説	「人(Man)・物(Material)・金(Money)」の3Mのコスト意識を背景に使用物品や消耗品に対しての意識を持った行動はもちろんであるが、職員一人一人がコストの1つとしての役割りを十分に自覚し、意識しながら業務に取り組む必要がある。その中でそれぞれが組織的な観点から、コストダウンの重要性が各職員に対し、周知されることが望まれている。そのことによってコスト管理への動機づけが図られ、当事者意識が増すことになる。チーム医療の場であれば、チーム全体での医療提供とコストの評価をして、チーム全員にその感覚を身につけさせるようにする。
	例題	コスト意識についてあなたが考えていることをのべなさい
	解答	使用物品や消耗品に対してのコスト意識を持った行動はもちろんであるが、職員一人一人もコストの1つとしての役割りを十分に自覚し、その中でそれぞれが仕事に対する意識をもって行動することが望ましい。など

第2分野 カンファレンス

解説	カンファレンスは 他職種による開かれた人間・信頼関係作り、 スーパーバイザー機能、 チーム関係者間ピアカウンセリングの場等一同が話し合いの場を持つことで、全員がひとつの問題・課題・ニーズ・評価を共有化をはかることによって医療・福祉に対する共通認識を持つての支援体制、 深い信頼関係を経て、問題を解決し、様々なサービスを提供することにその意義がある。目的と内容の明確化行った上で、参加者一人ひとりの意見を引き出すことがカンファレンス運営者に求められる技量となる。また専門職というアイデンティティを持ちながら、その一方で専門職種間相互の専門性の理解と尊重をし、チームとして対象者に対するより良い支援を提供出来るように発言・検討を行っていくことが必要となる。
1	例題 カンファレンスの目的について延べなさい 解答 各専門職により、情報や対象者のニーズと評価の共有化をすることで相互の緊密な連携や治療および処遇に関する継続的で可変的な検討と評価をはかる。

2	例題 運営方法、参加時の意識 解答 目的と内容の明確化行った上で、参加者一人ひとりの意見を引き出す。また専門職というアイデンティティを持ちながら、その一方で専門職種間相互の専門性の理解と尊重をし、チームとして対象者に対するより良い支援を提供出来るように発言・検討を行っていく。
---	--

第3分野 人材育成

解説	ソーシャルワーカーの人材育成について、まず基本的支援である援助技術についてであるが、援助の目的は対象者の生活と環境との接合面にある生活福祉問題の解決に向けて、福祉サービスを利用する対象者の主体系勢力を支持し、強化するように目指すことである。精神保健福祉における援助実践においては、対象者の疾病と障害による生活の現実を受容する。対象者が望んでいる社会参加の実現に向けての自己選択と自己決定の過程を重視する。基本的な信頼関係を基礎としている秘密保持の重視する。などに留意し行っていくよう指導する。これらは単一の方法によってすべてを解決するのではなく、援助技術の各方法を状況に応じて組合せ、保健・医療・福祉サービスを統合化するために共通の目的を認め合い、その知識と技術の統合および開発を目指す指向性を併せ持つよう指導していく。 次に連携のありかたについては、精神保健福祉に関する個人の知識・技術により行動をするのではなく、部署内での検討やチーム医療に十分に配慮した報告・連絡・相談の徹底を重視して院内・施設間での連携を図り、それらを基に他機関との柔軟な横つながりが確保されるように留意して行なうよう指導することが望まれる。 人材育成における基本的な視点として人事考課があるが、人事考課とは過去の一定期間における社員一人ひとりの仕事の遂行度とその努力の程度を、またある一定時点の能力の高さを日常職務遂行行動を通じて観察し分析判定するものである。人事考課には、各人の職務遂行状況をしっかりと把握し、職場指導等を通して修正し各人に与えられた職務を確実に実施すること。各人の潜在能力から能力の長所・短所を分析し、職場内外の指導を通していっそうの能力の開発や仕事のレベルアップをはかる。職務の遂行度、習熟度の度合いなどを考慮し「昇格・配置」など公平な処遇を行う。職務の遂行度・努力の度合いなどを考課し「昇給・賞与」など、賃金の行生且つ妥当な決定を行うことなどの目的がある。
1	例題 援助技術を指導教育に対するあなたの考え方を述べなさい 解答 援助の目的は対象者の生活と環境との接合面にある生活福祉問題の解決に向けて、福祉サービスを利用する対象者の主体系勢力を支持し、強化するように目指すことである。精神保健福祉における援助実践においては、対象者の疾病と障害による生活の現実を受容する。対象者が望んでいる社会参加の実現に向けての自己選択と自己決定の過程を重視する。基本的な信頼関係を基礎としている秘密保持の重視する。などに留意し行っていくよう指導する。これらは単一の方法によってすべてを解決するのではなく、援助技術の各方法を状況に応じて組合せ、保健・医療・福祉サービスを統合化するために共通の目的を認め合い、その知識と技術の統合および開発を目指す指向性を併せ持つよう行なう。
2	例題 制度理解の指導教育に対するあなたの考え方を述べなさい 解答 精神保健福祉に関する制度の一つ一つの十分な理解を指導教育することはもちろんのこと、対象者の個々のニーズを理解・把握でき援助実践を通してそれらを理解してもらい、統合してよりよい福祉サービスが行えるよう指導教育を行っていく。
3	例題 関係機関連携の指導教育に対するあなたの考え方を述べなさい 解答 精神保健福祉に関する個人の知識・技術により行動をするのではなく、部署内での検討やチーム医療に十分に配慮した報告・連絡・相談の徹底を重視して院内での連携を図り、それらを基に他機関との柔軟な横つながりが確保されるように留意して行なうよう指導する。
4	例題 人事考課の定義と目的を述べなさい。 解答 人事考課とは過去の一定期間における社員一人ひとりの仕事の遂行度とその努力の程度を、またある一定時点の能力の高さを日常職務遂行行動を通じて観察し分析判定するものである。人事考課には、各人の職務遂行状況をしっかりと把握し、職場指導等を通して修正し各人に与えられた職務を確実に実施すること。各人の潜在能力から能力の長所・短所を分析し、職場内外の指導を通していっそうの能力の開発や仕事のレベルアップをはかる。職務の遂行度、習熟度の度合いなどを考慮し「昇格・配置」など公平な処遇を行う。職務の遂行度・努力の度合いなどを考課し「昇給・賞与」など、賃金の行生且つ妥当な決定を行うことなどの目的がある。

第4分野 チーム医療

解説	チーム医療を進めるためには、対象者やその家族関係者が抱える問題の解決や緩和に向け、多くの専門職の援助が必要であることをチーム構成員が共通に認識していること、および、それぞれの専門性にもとづいたサービスが対象者に対しその意向が最優先され、自己決定を尊重し、十分に提供され、対象者の状況にあわせて対応し変化できる柔軟性が必要となる。チーム医療の維持発展に必要な条件として「各専門職における対象者のニーズと評価の共有化。」、「専門職種間相互の専門性の理解と尊重。」、「専門職種間の緊密な連携。」、「カンファレンスなどの定期的な開催による治療および処遇に関する検討と評価。」などがあげられる。				
1	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="199 497 272 526">例題</td><td data-bbox="272 497 1485 526">精神医療におけるチーム医療についてあなたの考え方を述べなさい</td></tr> <tr> <td data-bbox="199 526 272 674">解答</td><td data-bbox="272 526 1485 674"> 各専門職における対象者のニーズと評価の共有化。 専門職種間相互の専門性の理解と尊重。 専門職種間の緊密な連携 カンファレンスなどの定期的な開催による治療および処遇に関する検討と評価。 などを含む文章を期待。 </td></tr> </table>	例題	精神医療におけるチーム医療についてあなたの考え方を述べなさい	解答	各専門職における対象者のニーズと評価の共有化。 専門職種間相互の専門性の理解と尊重。 専門職種間の緊密な連携 カンファレンスなどの定期的な開催による治療および処遇に関する検討と評価。 などを含む文章を期待。
例題	精神医療におけるチーム医療についてあなたの考え方を述べなさい				
解答	各専門職における対象者のニーズと評価の共有化。 専門職種間相互の専門性の理解と尊重。 専門職種間の緊密な連携 カンファレンスなどの定期的な開催による治療および処遇に関する検討と評価。 などを含む文章を期待。				

第5分野 リーダーシップ論		
1	解説	リーダーシップについての一般概念の核心にある二つの任務は、目標設定と遂行意欲の持続性にある。また、リーダーシップというのは、個人あるいはリーダー・チームが、リーダーやリーダーと部下が共有している目的を追求すべく、集団を誘導していくプロセスである。リーダーシップとは、決して相手を意のままに動かす技法ではなく、グループ全員がひとつの世界いわゆる医療チームをつくるための技法といったほうがよい。リーダーシップは非公式の人的ネットワークを構築して組織に働きかける。したがってその発揮のためには、人を心底から動かすための力をいかにして獲得し効果的に行使するかが、本質的に重要な役割といえる。チームを構成しているリーダーは主体的な意思決定と行動を期待されており、保健・医療・福祉サービスの責任の一端を担うものである。その中で職種としての専門性と主体性を発揮することを日常的に自覚して、研鑽する努力を行うとともに医療における他専門職との連携や情報・目標の共有化に努めることが求められている。
	問題	チームにおけるリーダーの役割について述べなさい
	解答	チームを構成している職員は主体的な意思決定と行動を期待されており、保健・医療・福祉サービスの責任の一端を担うものである。その中で職種としての専門性と主体性を発揮することを日常的に自覚して、研鑽する努力を行うとともに医療における他専門職との連携や情報・目標の共有化に努めなければならない。

第6分野 面接技法

解説		より面接実践を振り返る中で検討し、「援助者としてのかかわりを他者に理解できるように言語化しているか」「自己決定を守れているか」、「客観的・専門的かかわり」「援助者の価値観に固執せず自由になれているか」「常識性にとらわれず、受容できているか」「医師や他の先輩の評価にいられていないか」「専門的知識と技術の駆使」「現実と理想のバランス」「機関・機能の限界の理解」「援助者の不安・緊張・不満等の洞察」「守秘義務を実行」「援助者の精神安定」などに留意し、客観的 point 検などを実施し、相互の技術向上が十分にはかれるよう指導する。
1	例題	面接技法指導についての留意点についてあなたの考えを書きなさい。
	解答	援助者としてのかかわりを他者に理解できるように言語化しているか 自己決定を守れているか 客観的・専門的かかわりか 援助者の価値観に固執せず自由になれているか 常識性にとらわれず、受容できているか 医師や他の先輩の評価にいられていないか 専門的知識と技術の駆使しているか 守秘義務を実行しているか などが含まれていることが望まれる。

第7分野 リスクマネジメント

解説	リスクマネジメントとは、マネジメントの一領域をして組織の氏名や理念を達成する為にその資産や活動に及ぼすリスクの影響から最も効率よく組織を守る為の一連のプロセス。対象者に対する医療・福祉に置けるリスクマネジメントの目的は事故防止活動を通して、組織の損失を最少に抑え「医療・福祉の質を保証する」事である。それらを即時に判断し、行動をし検討・分析をして次の業務につなげていけるよう指導していく。 リスクの中で起こりうるものとしてクレームがあるが、クレームも他のアクシデント・インシデント同様すべて速やかに上司に報告する。クレーム対応を最優先に行い、自己判断で行うのではなく対応を検討して行なうことが必要とされる。相手に対する謝罪については最低限必要ではあるがクレームとなった事項を充分に分析・評価し対応を画一化していくことが必要となる。クレーム対応に対する分析・評価今後援助する上での非常に重要な財産となる。 事故発生時の対応としては - 最善の処置 - 責任者への報告 - 記録 - 患者様・家族への説明 - 警察への届出(患者様が死亡するなどの重大な事態が発生した場合) - 関係機関への届出 - 事故報告書の作成 - 事故当事者への配慮 以上の過程を即時実行させ、事故を予防するために起きた事故に対する十分な検討や、アクシデントのみならずインシデント・クレームに対しても十分に検討出来、より良いサービス提供が行われるように問題解決に対する意識付けや指導を行なう。
1	例題 リスクマネジメントの定義と指導方法について述べよ 定義 リスクマネジメントとは、組織の氏名や理念を達成する為にその資産や活動に及ぼすリスクの影響から最も効率よく組織を守る為の一連のプロセス。 対象者に対する医療・福祉に置けるリスクマネジメントの目的は事故防止活動を通して、組織の損失を最少に抑え「医療・福祉の質を保証する」事。 指導方法 リスクを即時に判断し、行動をし検討・分析をして次の業務につなげていけるよう指導していく。
2	例題 クレーム対応についてどのように解決に向けた行動をするべきか述べなさい 解答 上司への報告 クレーム対応を最優先に実施 検討した対応の実施 相手に対する謝罪 事項の分析・評価し対応を画一化 などを含む回答
3	例題 事故発生時の対応と予防指導 解答 対応については上記解説に記載。 アクシデントのみならずインシデント・クレームに対しても十分に検討出来、より良いサービス提供が行われるように問題解決に対する意識付けや指導を行なう。

第8分野 運営方針

解説	PSWは対象者を生活者としてとらえ、傷病や障害をに加え、経済的・心理的・社会的問題を抱えた対象者に対する社会的機能障害に対処していくことがその業務であり、基本的人権の尊重と人権擁護、主体性の尊重、知る権利の優先・自己決定の保障・プライバシーの尊重の視点を基盤に対象者の機能回復に努める。また、PSWとして対象者の個別性を常に意識し、個人の人生の重みと対象者一人ひとりのその人らしさを決め細かく受け止め、それぞれの担当医師の指導の下、チームとしてそれぞれの専門性にもとづく役割り・連携のもとに業務を展開していかなければならない。	
1	例題	病院におけるPSWの業務またその視点と役割について述べなさい
	解答	経済的・心理的・社会的問題などの社会的機能障害に対処していくこと 基本的人権の尊重と人権擁護、主体性の尊重、知る権利の優先・自己決定の保障・プライバシーの尊重の視点を基盤に対象者の機能回復への働きかけ 個別性の意識し、疎の人らしさの追及 専門性にもとづく役割り・連携のもとに業務を展開 を含む回答を望む。

第9分野 人権擁護		
1	解説	精神疾患を有する者、又は精神疾患を有する者として処遇を受ける者はすべて、人道的に、かつ、生まれながらにして持つ人間としての尊厳を尊重されつつ処遇され、さらに経済的、性的、及びその他の形態の搾取、身体的又はその他の虐待並びに、品位を傷つける処遇から保護される権利を有するなどといった基本的自由と権利を背景に、治療への説明と同意・権利の告知・秘密の保持・地域社会との文化的役割の保障・手続き的保障などインフォームド・コンセントの理念を基盤に精神障害者のノーマライゼーション目指し、それらを実現していくことが精神科ソーシャルワーカーとしての役割である。
	問題	人権擁護に対するPSWの役割を述べよ
	回答	人間としての尊厳を尊重されつつ処遇する。 基本的自由と権利を背景に、治療への説明と同意・権利の告知・秘密の保持・地域社会との文化的役割の保障・手続き的保障などインフォームド・コンセントの理念をノーマライゼーション目指し、実現していくこと などを含む回答を期待

第10分野 精神保健福祉の動向		
解説		問題。施設整備問題。他精神保健福祉に関しての動向について回答者の情報として理解しているものを記載していただき、精神保健福祉に対する興味・関心を常にアンテナを張る姿勢を望みたい。
1	問題	精神保健福祉の最近の動向を説明しなさい
	解答	